

大学教員の授業観と教育行動

—全国大学教員調査—

2012年2月

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター

<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>

- この調査は、大学で教鞭をとっておられる先生方が、学生の教育にどのように関わっているかを、教育課程の編成や授業観、具体的な教育行動から明らかにし、日本の大学教育の将来を考えるための基礎資料を得ることを目的としています。特に断りのない限り、学士課程（学部）段階の教育を想定して回答してください。
- いただいた回答はすべて統計的に処理し、先生個人についての情報が他の目的で使われることは決してありません。本調査票は **2月17日（金）頃までに**、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。（17日以降も受け付けております。）
- 設問は全部で20問あります。年度末かつ入試業務と重なるお忙しい時期にお時間をとって恐縮ですが、何卒回答にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
- この調査は、文部科学省の科学研究費補助金（基盤B）「大学教育のガバナンス」の一貫として行うものです。なお、実際の調査票の配布・回収の業務については、社団法人 輿論科学協会に委託しています。お問い合わせは下記までお願いいたします。

○ フリーダイヤル **0120-279-939**

社団法人 輿論科学協会 担当：島田・田ノ本（平日 10:00～18:00）

1. 先生がお勤めの大学・学部について伺います

問1 先生が勤めておられる大学の設置者について伺います。（○は1つ）

56.9	私立	7.5	公立	35.6	国立
------	----	-----	----	------	----

問2 先生の所属されている学部の主な専門分野をお知らせください。（○は1つ）

2.2	人文科学	45.8	工学	—	家政学	0.7	その他（ ）
50.4	社会科学	0.1	農学	0.3	教育学		
0.1	理学	—	医歯薬看護学	0.1	芸術学		

2. 学科の組織と教育プログラムの編成について伺います

問3 先生が所属されている学部は、いくつの学科から構成されていますか。また、先生が所属されている学科の教員数（空きポストは除く）は現在何人ですか。それぞれ数値でお答えください。（数値記入）

注) ①で1学部1学科構成の場合には1とご記入ください。

①所属する学部は (3.7) 学科で構成されている
 ②所属する学科には (34.1) 人の教員がいる

問4 先生が所属されている学科は、いくつかの下位領域（教育・研究分野のまとまり）に分かれていますか。分かれている場合はそのコース・領域数と先生が所属されているコース・領域の教員数を数値でお答えください。（〇は1つ/数値記入）

49.9 分かれている ⇒ 所属学科は (3.7) コース・領域で構成されている
 自身のコース・領域には (10.8) 人の教員がいる
 49.1 分かれていない

問5 先生が所属されているコース・領域の教育プログラムの実質的な編成原理（意思決定権の所在）について伺います。以下の項目において実質的な権限の所在はどこにありますか。（A～Dそれぞれ〇は1つずつ）

注) 1学部1学科構成の場合、選択肢の3（学科）と4（学部）は同じ意味になります。その際には3の「学科」を選択してください。

	主な権限の所在				
	個々の教員	各コースや領域	学科	学部	全学
A.科目数や種類の増減、必修/選択の変更	0.3	8.5	60.8	21.2	7.6
B.教員1人あたりの科目分担数	2.6	11.5	58.0	15.6	15.7
C.個々の授業の内容・方法	79.8	7.6	8.1	1.4	1.4
D.個々の授業の成績評価の基準・方法	72.5	3.3	9.5	4.5	8.9

問6 先生が所属されているコース・領域の教育プログラムにおいて、卒業研究はどのような位置づけになっていますか。（〇は1つ）

58.5 必修である 25.6 選択である 14.7 課していない

3. 今年度中（1年間）の活動について伺います

問7 今年度（この1年間で）、先生が勤務校で担当された授業のコマ数(おおよそ90分の授業15回分を1コマ)と受講者数について、A.学部、B.大学院の授業の別に、下記の表にそれぞれ数値を記入してください。(受講者数はおおよその数で結構です。)

注) 複数人で担当された授業は、コーディネーター等の役割のみを担当したものや、数回だけの授業を担当したものは除き、実際に先生が少なくとも5回以上の授業を担当したものを記入してください。

また C.勤務校以外での非常勤のコマ数についても教えてください。(数値記入)

【記入例】

●1人で担当した授業	●複数人で担当した授業
<ul style="list-style-type: none"> ・講義科目2コマで受講者数がそれぞれ150人、30人 ・実験・実習科目1コマで受講者数が50人 ・論文・研究指導科目1コマで受講者数が7人 	<ul style="list-style-type: none"> ・2人で担当した講義科目1コマで受講者数が80人 (担当した授業は8回) ⇒担当回数が5回以上なので記入 ・6人で担当した講義科目1コマで受講者120人 (担当した授業は2回) ⇒担当回数が5回に満たないので記入しない

	1人で担当した授業		複数人で担当した授業	
	担当コマ数	受講者数	担当コマ数	受講者数
1.講義科目	(2) コマ	(180) 人	(1) コマ	(80) 人
2.演習・ゼミ科目	() コマ	() 人	() コマ	() 人
3.実験・実習科目	(1) コマ	(50) 人	() コマ	() 人
4.論文・研究指導科目	(1) コマ	(7) 人	() コマ	() 人

A.勤務校での学部の授業（今年度1年間で）

	1人で担当した授業		複数人で担当した授業	
	担当コマ数	受講者数	担当コマ数	受講者数
1.講義科目	(3.5) コマ	(263.5) 人	(1.6) コマ	(116.5) 人
2.演習・ゼミ科目	(3.1) コマ	(41.0) 人	(1.7) コマ	(68.0) 人
3.実験・実習科目	(2.3) コマ	(52.6) 人	(2.7) コマ	(77.6) 人
4.論文・研究指導科目	(2.0) コマ	(7.5) 人	(1.5) コマ	(8.9) 人

B.勤務校での大学院の授業（今年度1年間で）

	1人で担当した授業		複数人で担当した授業	
	担当コマ数	受講者数	担当コマ数	受講者数
1.講義科目	(1.5) コマ	(19.2) 人	(1.1) コマ	(26.9) 人
2.演習・ゼミ科目	(1.8) コマ	(6.6) 人	(1.3) コマ	(11.7) 人
3.実験・実習科目	(0.9) コマ	(4.2) 人	(0.6) コマ	(4.7) 人
4.論文・研究指導科目	(1.9) コマ	(4.6) 人	(1.6) コマ	(7.2) 人

C.勤務校以外での非常勤講師（今年度1年間で）

合計 (0.6) コマ ※無い場合は0を記入してください。

問 8 今年度の授業期間中の典型的な1週間を振り返っていただき、A.生活時間全般と、B.インフォーマルな学生や教員との交流についてお答えください。

A. 1週間に以下に挙げる各種活動に費やした時間はおよそ何時間くらいでしたか。それぞれ1週間を合計した数値で記入してください。(数値記入)

※「3.授業以外の場で学生との交流に費やす時間」には、指導の他、相談や飲食等の時間も含まれます。

※「6.授業や研究、会議以外で教員との交流に費やす時間」には、相談や飲食等の時間も含まれます。

A.1週間の生活時間（授業期間中の典型的な1週間）

1.授業の時間（学部および大学院）	(8.4) 時間
2.授業の準備に費やす時間（学部および大学院）	(9.0) 時間
3.授業以外の場で学生との交流に費やす時間（学部および大学院）	(4.6) 時間
4.研究活動に費やす時間	(13.6) 時間
5.学内の会議（連絡や資料作成を含む）に費やす時間	(5.4) 時間
6.授業や研究、会議以外で教員との交流に費やす時間	(2.0) 時間
7.その他の学内業務に費やす時間	(4.6) 時間
8.学外の各種活動（非常勤講師や社会サービス等）に費やす時間	(3.0) 時間

B. インフォーマルな学生との交流の時間（Aの3）、インフォーマルな教員との交流の時間（Aの6）について伺います。それぞれトータルな時間を10割とした場合、どの範囲の学生や教員との交流を行っていますか。(数値記入)。

注) 学生との交流、教員との交流それぞれが縦に10割となるように数値を記入してください。

B.インフォーマルな場面における学生や教員との交流の内訳（全体を10割として）

	授業以外の場での学生との交流 (Aの3)	授業や研究、会議以外の場での教員との交流 (Aの6)
	縦に合計して10割	縦に合計して10割
1.研究室・ゼミの学生との交流	(6.5) 割	
2.学科・コースの学生（教員）との交流	(1.6) 割	(5.2) 割
3.学部の学生（教員）との交流	(1.3) 割	(3.2) 割
4.学部を超えた全学の学生（教員）との交流	(0.7) 割	(1.3) 割
合計	10 割	10 割

問9 前問・問8のAの6およびBで回答していただいた「教員とのインフォーマルな交流」について伺います。先生は以下の事柄を日常、教員同士でどの程度議論したり相談したりしていますか。(A~Fそれぞれ〇は1つずつ)

	頻繁に行っている	時々行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない
A.コース・領域の学生のこと	22.6	46.7	11.2	11.5
B.学科・学部の学生のこと	25.5	53.9	10.8	7.1
C.コース・領域全体の教育目標や授業のこと	12.8	47.8	19.9	12.8
D.学科・学部全体の教育目標や授業のこと	17.0	47.7	21.3	11.0
E.お互いの授業のこと	8.9	40.1	30.0	18.3
F.お互いの研究のこと	10.7	40.9	26.5	19.0

4. 先生の授業観について伺います

問10 以下の授業に対する項目は、A.先生が担当されている学科・コースのプログラムで実際に行われていますか、またB.先生ご自身はどのように考えておられますか。(それぞれ〇は1つずつ)

A. 実際に行われているか	十分行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない
1.プログラムが提供する授業と授業との関係について、教員が学生に繋がりを教えている	15.1	57.2	21.2	6.1
2.学部や学科・コースの共通科目の場合、授業の内容や方法について教員間で調整している	15.6	49.6	24.8	8.6
3.各自が担当する専門科目の場合、授業の内容や方法について教員間で調整している	8.1	40.5	36.2	14.6

B.先生ご自身の考え

A	Aに近い ⇔ Bに近い		B		
【プログラムが提供する授業科目全般について】					
授業と授業の関係は学生が自律的に繋がって理解するものだ	5.9	17.0	45.1	31.0	授業と授業の関係は教員が学生に繋がりを教える必要がある
【学部や学科・コースの共通科目について】					
授業の内容や方法は担当教員自身の責任で決めるべきだ	10.7	22.9	42.5	23.2	授業の内容や方法の決定は他の教員との調整が必要だ
【各自が担当する専門科目について】					
授業の内容や方法は担当教員自身の責任で決めるべきだ	29.5	35.4	25.5	8.8	授業の内容や方法の決定は他の教員との調整が必要だ

問 11 先生が現在お持ちの授業観や授業スタイルに対して、以下の事柄はどの程度実質的な影響を及ぼしたと考えていますか。(A~Eそれぞれ○は1つつ)

	大いに影響	ある程度影響	あまり影響ない	まったく影響ない	経験がない
A.在学中に経験した授業	35.9	41.9	16.7	4.5	0.7
B.海外で受けたり見たりした授業	12.8	30.4	18.6	4.3	33.4
C.授業の参観や自身の授業の公開	4.8	35.9	31.7	7.5	19.7
D.学生による授業評価	10.1	58.2	24.6	6.3	0.4
E.大学(大学院)教育GPの選定	1.3	13.8	31.1	17.0	35.7

問 12 先生は以下の学生の育成・成長への関わりについて、大学教員としての成長や満足度をどの程度感じますか。(A~Dそれぞれ○は1つつ)

	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない
A.自身の研究室・ゼミの学生の育成・成長への関わり	64.8	31.1	2.7	0.6
B.コース・領域の学生の育成・成長への関わり	15.3	58.5	17.6	3.6
C.学科・学部の学生の育成・成長への関わり	12.1	54.6	28.8	3.9
D.学部を超えた全学の学生の育成・成長への関わり	5.2	22.6	43.9	26.4

問 13 学士力として例示されている能力や研究能力の修得という点からみた場合、先生は以下に挙げる授業・指導の形態のどれが有効(適している)と思われますか。

(A~Dそれぞれ○はいくつでも)

	卒業研究(卒論指導)が適している	研究室やゼミ単位の少人数授業が適している	大人数授業でもTAの活用や授業方法の工夫次第で可能である
横→に○はいくつでも			
A.知識・理解を修得するには (知識の体系的理解や文脈に応じた意味づけ等)	30.4	57.5	67.1
B.汎用的能力を修得するには (コミュニケーションや数量的スキル、論理的思考力等)	32.1	81.4	28.1
C.態度・志向性を修得するには (自己管理能力、チームワーク、倫理観等)	33.1	81.6	16.1
D.研究能力を修得するには	87.5	41.8	4.2

問 14 先生は学部の学生（大学院生ではありません）に対して、どのような点を重視した研究室・ゼミの運営をされていますか。（A～Dそれぞれ○は1つつ）

	非常に重視	ある程度重視	あまり重視していない	まったく重視していない	研究室・ゼミ所属の学生はいない
A.教育上の指導	61.7	32.9	1.7	—	3.2
B.研究上の指導	32.6	45.2	15.4	2.9	3.2
C.自身の研究活動（研究補助含む）への参加	8.2	23.5	29.4	34.7	3.5
D.上記以外のノン・アカデミックな諸活動	9.1	38.8	31.0	17.1	3.2

問 15 先生が担当されている授業や学科・コースのプログラムを改善する仕組みとして、以下のことはどの程度重要とお考えですか。（重要か、実現の見込みの別に、A～Fそれぞれ○は1つつ）

	重要か				実現の見込み		
	非常に重要	ある程度重要	あまり重要でない	まったく重要でない	既に実施	可能	困難
A.授業・教育評価の結果を処遇に反映させる	7.1	42.5	34.4	15.1	10.5	26.1	51.9
B.授業・教育評価の結果は教員の成長を目的に活用する	18.3	61.1	14.6	5.2	26.2	45.5	16.3
C.教授能力を重視した教員採用や昇進人事を行う	14.6	56.9	20.9	5.8	9.9	41.4	36.3
D.授業科目数や担当が増えても、少人数の授業を充実させる	13.5	52.3	28.7	3.7	14.4	33.3	40.8
E.受講者数が増えても授業科目数や担当を精選し、1つ1つの授業に十分な時間を充てる	15.3	53.5	26.4	2.4	8.4	50.4	28.4
F.教員同士の授業研究など、互いに交流を深め風通しをよくする	21.9	57.8	16.1	3.0	21.2	49.9	16.7

問 16 先生は以下に挙げる教育課程の編成のあり方に対してどのようにお考えですか。（A～Eそれぞれ○は1つつ）

	大いに賛成	ある程度賛成	あまり賛成しない	まったく賛成しない
A.教育プログラムの編成について、学科長や学部長の権限を強化する	5.5	31.7	43.2	18.7
B.科目のナンバリングなど、順次性のある体系的な教育プログラムを編成する	19.6	58.8	17.3	3.5
C.シラバスに明記するなどして、学生の授業外の学習時間を確保する	21.8	54.2	17.9	5.2
D.週に複数回の授業を行ったり、3単位を超える科目を導入したりして、学習の密度を高める	15.3	48.7	30.5	4.6
E.教員の裁量に依存しない成績評価の方法を導入する	5.9	31.3	46.7	14.8

5. 先生ご自身について伺います

問 17 先生は今年度、以下に挙げる共通科目の担当や役職を経験していますか。また以前に（以前に勤務されていた高等教育機関も含みます）経験されたことがありますか。
（それぞれ縦方向に○はいくつでも）

	今年度経験している	以前に経験したことがある
	縦↓に○はいくつでも	縦↓に○はいくつでも
A.全学共通科目の授業の担当	33.1	37.5
B.学部や学科の共通科目の授業の担当	66.0	45.1
C.全学の学務・教務委員の経験	32.0	35.4
D.学部の学務・教務委員会の委員長や全学・学部の共通科目のコーディネーターの役職の経験	27.4	26.1
E.学部長や副学部長、学科長の経験	20.2	15.9

問 18 先生はこれまで、以下のことを経験されてきましたか。（○はいくつでも）

- 17.7** 大学教員になる前の留学（短期の派遣留学は除く）
- 28.0** 他の高等教育機関での勤務（非常勤を除く）
- 24.8** 民間企業での勤務
- 8.6** 官公庁での勤務

問 19 「先生の授業に対する」学生による授業評価の結果は、どのようなものですか。
（○は1つ）

14.8 かなりよい **43.9** ある程度よい **37.8** 平均的だと思う **3.0** 平均よりも低い

問 20 先生の性別と年齢および職名について教えてください。

【性別】

11.4 女性 **88.2** 男性

【年齢】

（ **48.2** ） 歳

【職名】

55.8 教授 **32.4** 准教授 **11.2** 講師

※質問は以上で終わりです。お手数ですが回答漏れがないか今一度ご確認いただき、同封の封筒に入れてご投函ください。長時間にわたるご協力ありがとうございました。